保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日:

字来/// ロ・ ル重光度/	支援 ゆわっこのおうち チェック項目		(保護者) 23人 回答者数 23人 どちらともいえない いいえ		ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23		園庭があるため	□ あった田のようにかけてなく連携圏内で、多くの時間を過ごすことで、どんな場面で困りごとが出やすいのか、多くの人がいる中で自分が居心地よくすごすためにはどんな工夫があるかな?等、「みんな」がいるから気づくこと、試すこと、成長できる景育活動内容をこれからも行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	入れ代わりが多く人数も足りない印象	開所当初は持病の悪化等の理由で退職せざるを得ない方もいて、そのような印象を与えてしまったかと思いますが 活動範囲が広いため当初よりほぼ1対1での人 員配置を行っており基準配置 (子ども10人に対して保育者2人) を大幅に超える体制をとっております。また現在は人員も安定しております。
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 3 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー 化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		2	様々な工夫がされており、子どもにも使いやすそうだと思います。 構造化されているかどうかは、お部屋の中をじっくり見ていないのでわかりません。	HPに事業所内の写真をあげております。こどもに分かりやすいよう、ドアやトイレなど写真付きの使い方を掲示したり、その日に行う療育内容を可視化して伝えるホワイトボード等あります。一斉にわかるようになっているものもあれば、個々の特性に合わせて伝え方に工夫があったりするので、詳しく知りたい方はぜひお声がけください。また、こどもが過ごす室内はパリアフリー構造になっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23		適所していない子どもに羨ましがられるほど楽しめる空間になっていると思います。	職員だけでは対応が難しい細かな清掃・消毒業務などは、毎日清掃担当スタッフを配置し、事業所内の整理整領、清潔維持、美化に努めております。
適切な支援の提供	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のあるま 援が受けられていると思いますか。	18	5	毎回とても楽しんで過ごしています。子の発達に良い影響があると思います。 児童発達支援管理責任者の方が、開所直後に退職されたため、少し不安に感じました。 療育と幼稚園のあいだというような存在	こどもの特性理解については、担当職員だけではなく園の担任・顧問の作業療法士チーム・療育センターなど必要機関と連携をとりながら、その子の発達に応じた遊び、生活方法を支援計画に落とし込み支援しています。 また幼稚園時間枠・午後時間枠での過ごし方を変え、午後は小集団活動で特性や調きなアプローチできる内容の活動を入れております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と	21	2		
	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 7分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている と思いますか。		1	アプリ上で相談しても、回答のない記録だけが書いてあるときもある。やりとりがスムーズではない。	又 見落としがあるようでしたら申し訳ございません。 毎日のアプリでの写真付きの連絡帳の配信や、保護者のお悩みに応じて都度電話または対面での面談の設定を行っております。
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示 支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2	移行支援がどんなものか理解できておらず、すみません。	移行支援は就学に向けた支援となっており、主に年長児が対象になってくる支援ですが、就学座談会の開催(年少児保護者から参加できます)、個別での就学相談・就学先への引継ぎ資料作成などを行っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	22	1	毎回違うプログラムが提供され、どれも楽しめています。 様々なプログラムを提供いただき、子どもも毎回楽しんでいます。	いろいろな経験を構みながら、楽しい思い出を構み重ね、成長につながるようプログラムを考えております。 これからもお子さんたちの活き活きした姿、チャレンジする姿、できた富ぴを積み重ねられるよう考えていきたいと思います。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	23			
保護者への説明等	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に1 12 いて丁事な説明がありましたか。	22		後になって、利用を提案されたサービス自体が存在しないといわれ家庭でも混乱した。事業所の専門家がいないのかと不信感が残りました。良くも悪くも受給者証を持って通う児童発達支援所という認識が薄すぎると思うので改善してほしい、作業原法士の方がアドバイザーと聞いたが一度も余ったことも話を聞いたこともなく何でその方が職員じゃないのか疑問。他の利用者もよくわからないと言っている。	数型性に来ているため、美感の水が所属面を見る機会は少ないかもしれません。 要所能の推発されイン・2タグラム・アンドゥ
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	1		
	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ 14 グ等)や家族等も参加できる研修会や情報提供(就学に向けて等)の機 等が行われていますか。		4 :	もっと機会がふえたら嬉しい これから就学を迎えるので、いろいろと相談させていただけたら嬉しいです。	現在月に1度の保護者支援座談会の開催を行っております。お子様と一緒のプログラムなど、今後充実させていく予定です。
	日頃からごどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況 について共通理解ができていると思いますか。	22	:	お迎えの時にお話出来たり、アプリ内の連絡でも気軽に情報共有がしやすい環境だと思います。 幼稚園でお会いする機会があれば、かならず近況などを伺うことができ、体調面の心配もしていただいたりして、保護者として安心して預けられます。	保護有連絡アノリでの記録は、ついつい職員も長く書きすきてしまつはと、書きながつせての生活の中での子供にもの放長を振り返り気づく時間になっています。 全然も分析的やすくお子様の弦を行うステント ネーズ相称: フェルティン・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース・オース
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1 2	いつでも聞けるという安心感があります。	何かありましたら、アプリでもお電話でも直接でも大丈夫ですので些細なことでもご相談いただけると嬉しいです。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22		先生方が子ども達一人一人を良くみてくれていて、一緒にサポートして下さっていることを実感します。 こちらから気になることも気軽に相談でき、支援につなげていただけてると思っています。	5 1対1での担当制の他に、偏った視点にならないよう顧問の作業療法チーム・担任・必要であれば療育センターや他事業所を含めた支援会議を定期的に行いこども

	チェック項目はは	い どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
	18 保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。	21 2		保護者会を関催いただいたのに参加できず残念でした。	保護者会は毎月開催予定です。 新年度の予定もアプリ配信しておりますので、ぜひご参加ください。
保護者への説明等	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19 4		適所日数を増やしたかったが、人数調整もありなかなか増えなくて残念でした。それ だけ子どもたちに人気のある場所なんだと思います。	ご希望に添えず申し訳ありません。現在空きがない状況が続いており、もっとご希望に合わせて利用してもらえるにはどうすべきかを検討しております。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21 1	1		
	定期的に連絡帳などでこどもの様子が保護者に対して発信されていますか。	23		毎回とても詳しく記入して頂き感謝しております。 毎回とても丁寧に細かく活動内容を配信いただき、楽しみにしております。丁寧にみ ていただいていることも実感できます。	アブリでの連絡帳の配信、喜んでいただけて職員もとても喜んでおります。今後も、日々の姿、成長をしっかりお伝えしつつ、一緒に子育てに伴走できるよう努めてまいります。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	2	療育と無関係の在園児保護者の採用は配慮してほしい	療育と無関係な保護者の採用は行っておりません。 前職で福祉関係の仕事に付いていたり、こどもに係るお仕事をされている方、事務職であれば事務能力に長けている方など能力と人柄、やる気を総合的に判断し て採用を行っております。
非常時等の対応	事業所では、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明 されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20 3			
	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	20 3		どのくらいの頻度で避難訓練をしているか把握できておらずすみません。	基本的には幼稚園の避難訓練と同じタイミングにて合同の避難訓練をおこなっております。 また事業所内だけでも、避難経路の確認、訓練など行っておりますが、今後実施時には連絡帳にてお知らせさせていただきます。
	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される 25 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思います か。	23			
	#故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22 1			
満足度	27 ごどもは安心感をもって適所していますか。	23		とても楽しんでいます。	こどもたちがそれぞれ安心できる場所・人・時間が過ごせるようごれからも子供目線を大切に取り組んでまいります。。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22 1		ゆわっこさんの日は朝からとても元気です ゆわっこが大好きで、ゆわっこの帰りに「明日もゆわっこ行きたい!」と言っている くらい、いつも楽しみにしています!	とても嬉しいです!今後も子供たちが楽しみにしてくれる場所で在るよう努めてまいります。
	29 事業所の支援に満足していますか。	22 1		親子共に奇り添っていたたき、大変感謝しております。	ありがとうございます。初年度で至らぬ点も多い中、嬉しいご意見感謝いたします。初年度の気づきを活かし、より良い支援が届けられるよう努めてまいります。 す。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 一般社団法人うるの木 ゆわっこのおうち 公表日 2025 年 4 月 28 日

					公表日	2025 年 4 月 28 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		利用者の年齢や活動内容によって、 部屋を2部屋にわけて支援できるスペースを確 保している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切である か。	10		利用者に適した職員を配置できるよう 常に意識している	
· 体 制	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化 や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		施設内のルールについて子どもたちと見直す機 会を設けたり、視覚的にルールが伝わるよう写 真や絵を掲示している。	
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		清掃・消毒を毎日行っている。 利用者に応じて机の配置や数を減らすなどして 活動しやすい環境にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。	10		静養室を設けている。 多目的室も利用可能にしている。	
	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		月に1度の研修日、また別途 週に1度情報共 有や社員同士の話し合いの場を設けている。	
-	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者からの意見を聞く場を設けたり、 サービス提供記録の保護者からの返信をみて 今後の支援の方針に活かしている	
業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	10		毎朝ミーティングで当日担当する子供に 対する支援をどうしていくかの共有、話し合い が必要な場合には別日に話し合っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	10			外部顧問や外部理事・連携園などから意見 をもらい運営を行っている。
•	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	10		月に1度研修の場を設けている 参加出来ない社員に対しては動画で共有をして いる	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		内容を見やすくまとめている	
•	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成 しているか。	10		短期目標から長期目標を掲げて 保護者にも確認している。	
•	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけ でなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最 簡の利益を考慮した検討が行われているか。	10			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われ ているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
適切ない	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
支援の提	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		1か月の予定を職員同士で考え作っている	
供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		利用者に合わせて プログラムをかえている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児 重発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			支援の進み具合に合わせて個別と集団を分けて	I 提案している
-	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	10		毎朝ミーティングで話し合っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
					打合せをする時間は設けていないが、	新年度より、朝会にてこどもの支援確認、
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	その都度利用時の姿を共有し振り返っている。	水曜日午後に支援会議の時間を設定
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につかばているか。		_	保護者向けに支援内容を記載し公表。 その内容を職員のみがみれるチャットワークに	
		つなげているか。			あげて日々共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
		地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、				
	25	教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚郎)等との間で、支援内容等の情報共 有と相互理解を図っているか。	10			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10			
関係		(28~30は、センターのみ回答)				
機関や	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
保護者と	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
の連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
		(31は、事業所のみ回答)				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど もと活動する機会があるか。	10			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	10			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。			親子力フェがある	新年度も月1度の保護者会の実施を行う
	35	連営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	10			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家	10			
	37	族の意向を確認する機会を設けているか。 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者	10			
	3/	から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
保護者へ	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
の説明	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合 に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対 して発信しているか。	10			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42	2 個人情報の取扱いに十分留意しているか。		1		関係機関が多いため記録写真の管理 ・個人情報特定につながる情報の取り扱い など、情報管理の研修を行う。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	10			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業連営を 図っているか。	10			
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に付え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認し ているか。	10			
非常	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応 がされているか。	10			
時等の	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措 置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
対応	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全 計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について 検討をしているか。	10			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を しているか。	10			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に 決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児 童発達支援計画に記載しているか。	10			